

ワーケーション研究所

Japan Institute on Workations

ワーケーション研究所が考える
ワーケーション・トライアングル

JR熱海駅から徒歩約16分、
海まで徒歩1分という開放的
な共有スペースを起点に、
仕事の生産性とクリエイティ
ビティ(創造性)、そして働く
人、一人ひとりの幸福度の向
上に資する「ワーケーション」
を提供します



—「質の高い体験・プログラム」と「効果測定」を提供します—

ワーケーション研究所では、一人ひとりがリフレッシュして、自分らしさを取り戻し、自らの潜在力を発揮できるようになる「未来創造力」を培う体験・プログラムの提供と、ワーケーションによる価値を効果測定し「見える化」することをめざしています。

コミュニケーションや組織開発に豊富な経験をもつメンバー、地元で長年体験プログラムを提供してきたメンバーがサポートします。

所長: 枝廣 淳子

大学院大学至善館教授
イーズ代表取締役社長
幸せ経済社会研究所所長
株式会社未来創造部代表取締役社長



副所長: 小田 理一郎

チェンジ・エージェント代表取締役社長



副所長: 光村 智弘

熱海マリンサービス取締役社長
株式会社未来創造部副社長



イーズ
幸せ研

プログラム開
発・情報発信

チェンジ・
エージェント
プログラム開
発・効果測定

未来創造部
場と体験プロ
グラムの提供

ワーケーション研究所のパイロットプログラム例

実施日：2020年8月

参加人数：会場参加6名、オンライン参加6名

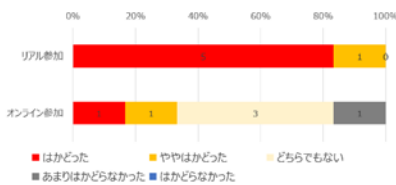


- 10:10~10:25 今日の意図／チェックイン／体と心を緩める
- 10:25~12:00 身体の声に耳を傾け、コロナ禍を振り返り、Withコロナへの向き合い方を考える「スカルプチャー」、グループ共有
- 12:00~13:00 ランチ休憩
「地元・宇田水産による特製海鮮丼」をマリナーでいただく
未来創造部の船で港内クルーズ、海から陸を見る体験
- 13:00~13:30 グループ企業概観とWithコロナ時代の事業戦略展望
- 13:30~14:00 オープンスペーステクノロジー「グループ横断課題」
- 14:00~14:30 発表と討議
- 14:30~14:40 休憩
- 14:40~16:10 部門別ワーク
- 16:10~16:45 全体討議
- 16:45~17:00 チェックアウト
撤収／帰宅組解散／懇親会
- 19:30~20:30 マリナーへ移動／懇親会
- 20:30~20:45 熱海海上花火大会観覧



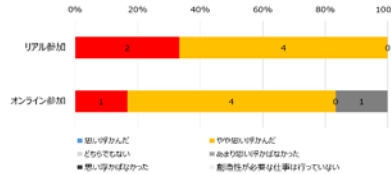
プログラムの効果測定例（終了時のアンケートより）

仕事ははかどりましたか？



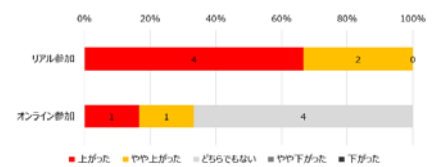
リアル組は全員が「捗った」「やや捗った」と回答した

新しい構想やアイデアは思い浮かびましたか？



リアル参加・オンライン参加とも創造性については高評価
リアル参加は全員が「思い浮かんだ」「やや思い浮かんだ」

ワーケーションを行って、あなたの幸福度は上がりましたか？ それとも下がりましたか？



リアル参加者は全員が「上がった」「やや上がった」と回答した

- ✓ 会場内が近すぎない距離感で圧迫感が少なく、発言しやすかった
- ✓ 地べたに座ることで開放感が得られた
- ✓ いつもと違う環境で、肩の力を抜いてリラックスして考えられた
- ✓ アクティビティで切り替えができ、集中しやすかった
- ✓ 海の風を感じる体験ができた

- ✓ オプションと思っていた「ライブ感」に思わぬ価値があったことが発見できた
- ✓ 実際に目で見て感じることで、今後の業務を身近に感じる事ができた
- ✓ 海から陸を見るという行為からインスピレーションを得た
- ✓ 日常取り扱えないテーマについて話せた
- ✓ 時間的余裕が気持ちの余裕につながった

- ✓ 土地ならではの美味しく新鮮な食事などが、オンラインの時代だからこそ贅沢に感じた
- ✓ その場を見て感じる事が、考えることに大きくつながった
- ✓ 遊びで来ていると「自粛なのに」と考えてしまうが、仕事なので気が楽だった
- ✓ 海や外への移動と通じて、日常と異なる時間を感じられた
- ✓ リラックスして人と会話できた

■お申し込み・お問い合わせ

株式会社未来創造部 413-0014 静岡県熱海市渚町7-5

電話：0557-85-0330

Mail: edahiro@es-inc.jp <https://mirai-sozo.work/>